

<講師> 防衛学教育学群 国防論教育室 教授 河上 康博 (かわかみ やすひろ)

<テーマ> 現代の国防論 –現代の日本の防衛に必要不可欠な作戦術について

<講演内容>

わが国を取り巻く安全保障環境は、様々な課題や不安定要因がより顕在化・先鋭化してきており、一層厳しさを増している。特に、純然たる平時でも有事でもないグレーゾーンの事態は、国家間の競争の一環として長期にわたり継続する傾向にあり、これに対処している自衛隊は、まさにグレーな戦いの真っ只中にある。その対処次第では、国家間の戦いに至る可能性も秘めている。これは、戦術が直接戦略に影響を及ぼす事態であることから、現場部隊は、現場での確な戦術を執ると同時に戦略についても深く理解しておく必要がある。こうした情勢から、今後求められる国防、その中でも防衛について、現場で対処する自衛官のみならず安全保障関係者にとっても戦略と戦術の双方を理解するとともに双方を総合的に捉えることが更に求められている。この戦略と戦術の橋渡しをしているのが「作戦術」である。それ故に、「作戦術」は、今後の防衛に必要不可欠な方法論である。

本講座では、今後、日本の防衛に携わる関係者にとって、「戦略」と「戦術」、そして「学」と「術」の双方が必要不可欠であり、それを繋ぐ役割を有している「作戦術」の重要性について、具体的

<略歴>

1988年3月 防衛大学校理工学専攻電気工学卒業  
2001年3月 海上自衛隊幹部専攻科（機雷掃海）課程修了  
2005年8月 第46掃海隊司令  
2009年3月 海上自衛隊幹部学校幹部高級課程・統合幕僚学校統合幹部高級課程修了  
2009年3月 海上幕僚監部 訓練班長  
2011年8月 第51掃海隊司令(国際掃海訓練(中東)派遣部隊指揮官:連続2回)  
2013年3月 海上幕僚監部 服務室長  
2015年1月 掃海業務支援隊司令  
2016年12月 掃海隊群(機雷戦・水陸両用戦)司令部幕僚長  
2018年9月 防衛大学校 防衛学教育学群 国防論教育室 教授

<実務実績等>

実務実績：国際掃海訓練派遣部隊指揮官、日米共同掃海特別訓練統制官、各種海外訓練調整（寄港）等を担当（25か国50箇所（回）訪問）  
研究報告講演等実績：日本防衛学会、インドネシア国防大学シンポジウム、隊友会横浜南支部、(株)電通、NPO法人海外安全・危機管理の会、一般社団法人国際教育振興会、横須賀ライオンズクラブなど多数

<講師> システム工学群 航空宇宙工学科 教授 田中 宏明 (たなか ひろあき)

<テーマ> 宇宙安全保障に関する宇宙技術の基礎

<講演内容>

宇宙作戦隊の新編など、防衛における宇宙の役割が重要度を増している。防衛省におけるXバンド防衛通信衛星の運用や、装備品での測位衛星の利用など、インフラとしての宇宙システムの重要性が増す中で、スペースデブリや不審衛星などその安定的利用に対する脅威も顕在化している。本報告では、スペースデブリ等の宇宙利用に対する脅威の現状と、将来の宇宙空間の安定的利用に資する活動に必要な宇宙技術について、その基礎から最新の動向について紹介する。

<略歴>

1998年4月 三菱電機株式会社  
2003年11月 宇宙航空研究開発機構  
2004年4月 防衛大学校 航空宇宙工学科 助手(2007年より助教に名称変更)  
2010年4月 防衛大学校 航空宇宙工学科 講師  
2012年4月 防衛大学校 航空宇宙工学科 准教授  
2016年4月 防衛大学校 グローバルセキュリティセンター 宇宙安全保障分野 研究主幹  
2017年4月 防衛大学校 航空宇宙工学科 教授

<著書・論文等>

・「Study on a docking method using a metal anchor for space debris mitigation system」, (日米SSA技術ワークショップ, 2017年)  
・「スペースデブリの低減に関する基礎研究」(グローバルセキュリティセンターニューズレター, 2019年)